

新男性接客用制服の制定について

JR東日本は、完全民営化の達成を契機として、新たな挑戦の始まりをアピールするため、平成14年12月1日に、男性接客用制服を一新することにしました。これまでの紺色からグレーを基調とした制服に変わります。エンブレムや襟のラインなどのアクセントをつけ、制服らしさを強調しました。

- 1 対象となる制服（男性用）
駅長型、営業基本型、車掌型（在来線）、車掌型（新幹線）の4種類、冬・夏・盛夏の3シーズン別、計12種類

- 2 コンセプト
21世紀にふさわしく、従来の制服とは一新したものであること
「さわやかな対応」を表現する制服であること
「堅実」「信頼」「安心」を醸成しつつ、清潔で好感の持てる制服であること
着てみたくなるような制服であること

- 3 開発の主なポイント

<デザイン開発>

スーツ型を基本とし、より活動性が向上した逆三角形のセミソフトシルエットを採用しました。

色は清潔で好感が持たれ、制服イメージを一新したものとするため、格調・品格があり、かつ親近感のあるグレー系を基調色としました。

色彩は冬服～夏服～盛夏服と変わるにつれて濃い色から明るい色へ変化し、四季を通じて統一感を図りました。

開発にあたっては、機能性などについて着用する社員の意見を盛り込んで最終デザインを決定しました。

<冬服・夏服>

冬服はチャコールグレー、夏服はグレーをベースにアンティークゴールド色のエンブレムをアクセントとし、ネクタイを含めたトータルコーディネートでデザインされています。

<盛夏服>

駅長及び優等列車の車掌はスーツ型、駅社員・一般車掌はグレー地に白のストライプ柄を2種類使ったシャツスタイルです。

<エンブレム>

アクセントと識別性を向上させるために、胸と袖にエンブレムをつけました。

<ネクタイ>

夏冬用と盛夏用のネクタイを作りました。

- 4 着用開始
着用は、平成14年12月1日からを予定。（東北新幹線盛岡～八戸開業）

- 5 今後の予定
今回開発した男性接客用制服をひとつのベースとして、運転士用、女性接客用、技術用等、全職にわたる制服のリニューアルに順次取り組む予定。

【参考：新男性接客用制服】



営業基本型（一般）

営業基本型（助役）

駅長型

区長型

車掌型 B（新幹線）

車掌型 A（在来線）

いずれも冬服です。